

派遣留学の手引き

2022

2023年度派遣適用



文学部・経済学部・社会福祉学部生対象

派遣留学の手引き 2022～ 目次 ～

本編

1. はじめに	1
2. 派遣留学制度のポイント.....	1
3. 留学期間.....	2
4. 留学時期.....	2
出発前のスケジュール.....	3
5. 留学中の学習内容.....	3
6. 費用.....	4
7. 奨学金等.....	5
8. 応募資格・条件	6
9. 選考方法.....	8
10. 単位認定制度	8
11. 卒業要件との兼ね合い.....	9
在学期間のモデルケース(1年間留学する場合)	9
12. 授業料の取扱い	10
卒業延期時(派遣留学から帰国後)の授業料取扱例	12
13. 派遣留学までのフローチャート.....	14
14. 派遣留学生への期待・義務.....	15
15. 留学準備.....	15
16. 新型コロナウイルス感染症に関連して	17

資料

1. 2023 年度 派遣留学生募集要項	18
2. 英語のテスト	20
3. 協定校概要(国・地域別概要)	21
4. 協定校ガイド(2019 年現在)	31
5. 協定校学期制度(2019 年現在)	32

はじめに

北星学園大学は、独自の「人間性・社会性・国際性」の育成を教育目標に掲げ、それらを涵養するために国際交流プログラムを 50 年以上にわたり展開してきました。

現在、本学ではアジア・北米・ヨーロッパの 9 つの国と地域の 18 校(アメリカ、中国、イギリス、カナダ、韓国、台湾、スペイン、スイス、インドネシア)と協定を結んでおり、学生交換を行っています。毎年 25 名程度の学生を送り出し、50 名程度の留学生を受け入れています。新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、2020～2021 年度の 2 年間は、本学史上初めて留学生の派遣も受入もすることができませんでしたが、これまでに 746 名の学生を送り出し、1,600 名(2022 年 4 月 1 日現在)の留学生を受け入れました。

本学では、協定に基づく留学(交換留学)のうち、北星大の学生が協定校へ留学するものを「派遣留学」と呼んでおり、この手引き書では、その制度について説明しています。

本学の派遣留学制度には、授業料の取扱いや取得単位の認定などのメリットがあります。よく読んでその内容を理解し、必要な資格・条件を整えてください。留学の目的を明確にし、実りある留学を実現させてください。

派遣留学制度のポイント

○留学期間は 1 年間(2 学期間)または、半年間(1 学期間) <選択可>

※詳細は、2 ページを参考にすること

○留学開始時期は、春(1 月～3 月出発)または秋(8 月～9 月出発) <選択可>

※詳細は、2～3 ページを参考にすること

○現地で学部生として学習(イギリス、中国、韓国、台湾での語学研修を除く)

ただし、留学先大学が求める語学基準等を満たすことができない場合は、語学学習が中心となる場合があります。

※詳細は、3～4 ページを参考にすること

○文学部・経済学部・社会福祉学部の 2 年生以上が応募可 = 全学科の学生に開かれた制度

英語圏へ留学する場合、一定の英語力が求められますが、本学の協定校は本学学生に対し、通常より低い TOEFL の基準点を設定しています。学科別の得点設定や派遣人数枠にも目安があり、英文学科以外の学生が英語力のために選考の際に不利になることはありません。

どの学科の学生も努力することで、留学のチャンスを手にすることができます。

※応募条件・語学基準については、6～7 ページを参考にすること

○単位認定制度有 = 留学期間を含めて 4 年間で卒業することも可能

留学先で取得した単位を本学の単位として認定する制度があります(上限 30 単位:留学先での取得単位数を超えないこと)。また、派遣留学中の期間は修業年限に含まれますので、派遣時期や留学前の履修状況・取得科目などにもよりますが、留学期間を含めた 4 年間での卒業が可能となる場合があります。

※詳細は、8 ページを参考にすること

○帰国後、授業料の減免措置有

派遣留学によって卒業が延期になった場合、必要な条件を満たしていれば、5 年目(卒業延期年次)の最大 1 年間は、授業料の減免が適用されます。

※詳細は、10～12 ページを参考にすること

留学期間

1学期間または1年間のどちらかを選択できます。

※福祉計画学科生の派遣期間は、カリキュラムの都合により1年間のみ

派遣期間の延長はありませんので、派遣生は1学期間または1年間の留学を終えると、帰国して本学に帰学します。派遣生は留学の成果を活かした上で本学を卒業することが期待されているからです。

留学時期

「春派遣」または「秋派遣」となります。

本学では、本学の学期制度にあわせて1月～3月にかけて学生を派遣することを「春派遣」、各国の学期制度にあわせて8月～9月にかけて派遣することを「秋派遣」と呼んでいます。

※それぞれの派遣時期によって、募集時期が異なります

※韓国は春学期のみ、アメリカ、イギリス、カナダ、スペインの一部受入先大学は秋学期からのみ派遣可能です。詳しくは、資料の「派遣留学生募集要項」(17 ページ)をご覧ください。

春派遣

1学期間(半年間)の場合: 1月から3月頃に出発～6月から8月頃に帰国
(新年度前に出発するが、留学期間は新年度の前期。同年度の後期に帰学)
通年科目の履修や、積み上げ科目の開講期等に注意が必要です。

1年間の場合: 1月から3月頃に出発～12月から翌年2月頃に帰国
(新年度前に出発するが、留学期間は新年度の前期・後期。翌年度の前期に帰学)

この期間は本学の学年度とほぼ一致します。帰国後の本学カリキュラムへの移行が比較的スムーズなため、留年せずに卒業できる可能性は秋派遣より高くなります。ただし、そのためには早い学年から綿密な履修計画を立てることが必要です。

また、留学期間中に長期の夏期休暇を迎えることになります。その間は留学先の寮を出なければならぬ場合が多いため、休暇期間の滞在場所・滞在方法について事前に計画を立てておくことを強くオススメします。

※大学敷地内の寮滞在の場合、休暇中は基本的に退寮しなければなりません。

春派遣の場合に気を付けなければならないことは、特に北米・ヨーロッパの受入先大学に限られることです。また、ほとんどの留学先大学では学年度の途中から留学を開始することになります。そのため、新入生向けの生活や履修についてなどの各種オリエンテーションが既に終了しており、大学によっては改めて説明を受ける機会が少ない・情報を入手しづらい場合も考えられます。しかし、そのような時は、現地のアドバイザーや指導教員、留学生担当部署などが援助してくれます。

秋派遣

1学期間(半年間)の場合：8月から9月頃に出発～翌年2月頃に帰国
(夏休み中に出発する。留学期間は当年度後期。翌年度の前期に帰学)

1年間の場合：8月から9月頃に出発～翌年6月から8月頃に帰国
(夏休み中に出発する。留学期間は当年度後期・翌年度前期。同年度の後期に帰学)

この期間は、留学先の学年度と一致します。留学の開始時期が、日本で言えば4月の新学期に相当するため、留学生生活を開始するのに良いタイミングと言えます。授業は翌年の5月頃までに終了し、その後は夏休みに入りますので、その時点で帰国することが可能です(滞在期間が短ければその分留学費用を抑えることができます)。

秋派遣の弱点は、留学期間が日本の学年度と一致しないため、学年をまたがる留学となることです。留学期間に抛らず、前期で中断された通年科目などは帰国してから後期分を履修できるようになっていますが、その科目が隔年開講であれば、継続履修が難しくなる場合があります。また、積み上げ科目などは開講期の関係もあるため、5年目に履修せざるを得なくなり、4年間での卒業ができないことが起こりえます。他にも学年がまたがることで履修が複雑になる場合が考えられます。

出発前のスケジュール

【春派遣の場合】



【秋派遣の場合】



留学中の学習内容

派遣先大学の学部生として授業を受講することができます(イギリス、中国、韓国、台湾での語学研修を除く)。

※留学先大学が求める語学基準等を満たすことができない場合は、語学学習が中心となる場合があります。

※北米への派遣留学生は、出願時に ESL が免除になるスコアをもっている場合、現地到着時のテストの成績次第で ESL を受講する可能性があります。

現地での授業例

(派遣先のカリキュラムの都合や語学基準等のためにこの通りにはならない場合があります)

アメリカ・カナダ

- ・1 学期目:ESL(語学)中心の学習/学部の授業のみ
- ・2 学期目:学部の授業のみ
- ※1 学期目終了時の語学力によっては 2 学期目も ELS が中心になることも
- ※アメリカの場合、ESL がない受入先大学もある

イギリス

- ・学部:学部の授業のみ(1・2 学期目どちらも)
- ※ESL はありません
- ・語学:大学付属の語学学校の授業のみ(1・2 学期目どちらも)

スイス、スペイン、インドネシア

- ・現地で使用されている言語の授業(2 コマ程度)が必修
- ・その他は英語で学部の授業を受講
- ※日常生活のために授業以外でも現地で使用されている言語を学ぶ必要がある

中国(大連外国語大学)

- ・中国語を学ぶ授業が中心

台湾(東海大学)

- ・中国語を学ぶ授業が中心
- ・英語で学部の授業を受講することができる

韓国(韓国カトリック大学校)

- ・韓国語を学ぶ授業が中心
- ・英語で学部の授業を受講することができる

費用

個人的に海外の大学に留学しようとする場合、特に北米やヨーロッパの大学は授業料が高額になりますが、本制度では授業料は通常通り北星に納め、派遣先大学での授業料は免除されるため、その分安い費用で留学ができます。

また、韓国、台湾、インドネシアの場合は、協定に定められた範囲で寮費の免除(インドネシアは現地奨学金もあり)の制度もあります。

本学の授業料を除いた、1 年間の派遣留学費用の目安は、北米・ヨーロッパの場合:200万円程度、アジア圏の場合:100 万円程度となります。

主な支出項目は、下記のとおりです。

- ✓往復旅費(遅延・欠航時の対応から、LCC の使用は認めていません)
- ✓パスポート取得費用
- ✓ビザ申請手数料(派遣国によっては申請のための旅費も必要)
- ✓海外旅行(留学)保険料
- ✓J-TAS(海外留学生危機管理サポート)費用
- ✓衣食住費
- ✓通信費
- ✓教科書・文房具代
- ✓長期休暇期間中の生活費
- ✓長期休暇中の課外講座等にかかる費用〔任意・自己負担〕
- ✓お小遣い、その他雑費

※個人の生活の仕方や長期休暇中の過ごし方など様々な要因により金額は大きく変動します。

これらの費用の総額は、国・地域・派遣先大学によって異なるので、各大学のホームページ等を参考に具体的に検討し、資金計画を立てておく必要があるでしょう。

また、留学中の滞在資格(ビザの要件)では、アルバイトを禁止/制限されることが多く、言語のハンディや勉強に追われると言った理由からも、現地でのアルバイトは現実的ではありません。貸与奨学金を受けるといこともひとつの方法ですが、卒業後の返還を念頭に良く検討してください。

※アメリカ・イギリス・カナダ・韓国・台湾については、留学先大学の入学手続き時、またはビザ申請時に一定額以上の銀行口座残高証明が必要となります。

奨学金等

派遣留学生に対して給付、または貸与される奨学金や渡航費補助、協定校独自の援助制度は以下のとおりです。本学を通じて手続きします。

1. 大学後援会による渡航費補助<給付>

派遣留学生に対し、出発前に 1 人あたり 10 万円(アジア圏※)、または 15 万円(北米・ヨーロッパ)が給付されます。

※インドネシアはアジア圏に含まれます。

2. 大学同窓会による渡航費補助<給付>

派遣先にかかわらず、出発前に一律で 1 人あたり 5 万円が給付されます。

3. 各協定校による寮費免除・奨学金<給付>

(1) カトリック大津校

年間で 3 名を上限として寮費(部屋代)が全額免除されます。

(2) 東海大学

年間で 3 名を上限として寮費(部屋代)が全額免除されます。

(3) マラナタ・クリスチャン大学

年間で 2 名を上限として寮費(部屋代)が全額免除され、毎月 300 万ルピアの奨学金も支給されます。

4. 独立行政法人日本学生支援機構 第二種奨学金(短期留学)<貸与(有利子)>

日本国内の大学等に在学中に、海外の短期大学・大学・大学院へ短期留学する人を対象とした有利子奨学金です。申込み時に 3 万円・5 万円・8 万円・10 万円・12 万円の中から貸与額を選択できます。

申込から貸与までの流れは次のとおりです。

- (1) 日本学生支援機構が定める申込資格・条件等を満たした上で、北星大に応募申請し、学校長の推薦を得て、応募する(留学前)
- (2) 審査・選考の上、採用されると留学開始に合わせて奨学金の振込が開始される

※奨学金貸与終了後は、返還の義務が生じ、毎月決められた金額を返還することになります。

※国内奨学金の貸与を受けている人は、留学開始前に留学中の奨学金の取扱いについての手続きが必要となります。手続きの詳細については、上記の4. 第二種奨学金(短期留学)の申込みにかかわらず、学生生活支援課の奨学金担当者に確認してください。

5. トビタテ！留学 JAPAN「日本代表プログラム」による奨学金<給付>

官民共同で、2014 年から実施されている海外留学支援制度です。大学、大学院、短期大学、高等専門学校(第3年次以上で専攻科を含む)、専修学校(専門課程)に在籍する日本人学生等が応募できます。

詳しくは HP(<http://www.tobitate.mext.go.jp/>)をご覧ください。

選考されると、留学に必要な経費の一部が奨学金等として支給されるとともに、留学経験の質を高めるため、留学の前後に行う研修の提供及び留学後の継続的な学習や交流の場としての派遣留学生のネットワークの提供が行われます。

なお、支給金額は渡航先の地域等によって異なります。

応募する際には次のことが必要です。

- ・留学(派遣留学、私費留学問わず)することが決まっていること。
- ・現地での学習活動・実践活動についての綿密な計画が立てられていること。

※定められた申込資格・条件等を満たした上で各自が所属大学にオンライン申請し、大学がとりまとめて文科省に申請します。

※奨学金の返還義務はありません。

※応募条件や学内締め切り等などの詳細については、国際教育課に問い合わせてください。

応募資格・条件

本学の派遣留学生として協定校に留学するためには、年2回行われる派遣留学募集の期間に応募し、学内選考を経て派遣生として選ばれる必要があります。応募する際には、下記の応募資格を全て満たしていなければなりません。

1. 学籍

本学に1年以上在学している 文学部・経済学部・社会福祉学部の学生及び大学院生

※本学短期大学部から本学へ編入した学生は、編入した時点で本学に1年以上在学したものと同様に扱います。

※短期大学部在学中に本学3年次推薦編入の学内選考に合格した場合は、編入選考と並行して秋派遣に応募することができます。ただし、編入学試験に不合格となった場合は派遣生選考対象から除外されます。

※休学中に応募することはできません。

2. 取得単位数

下記の条件を両方満たす者(大学院生を除く。前年度休学者は休学前までの単位数)

(1) 前年度取得単位数が30単位以上

(2) 2年次に応募する者は、1年次取得単位数が30単位以上

※3、4年次に応募する者は前年度までの取得単位数の累計がそれぞれ60、90単位以上あること。

3. 成績

応募時のGPAが2.3以上であること

※選考のための資料とされる学業成績は前年度のもの(単一年度)です。つまり、現在 3 年生であれば 2 年次に修得した成績が対象となります。

※4 年次に留学の申込みを希望する場合は前年度の成績か、過去 3 年間の累積成績のどちらか良い方が採用されます。

4. 語学力(19 ページ「英語のテスト」参照)

(1) アメリカ、イギリス、カナダ、スペイン、スイス、インドネシアへの派遣希望者は、TOEFL スコアが本学で定めた基準以上であること

※下記の応募基準を超えていなければ応募はできません。

※スコア票の原本が応募の際に必要です。コピーによる提出や紛失の申し出は受け付けられません。

※派遣基準点未滿で応募した人は、春期派遣については派遣前年の 6 月 30 日、秋期派遣については派遣前年の 11 月 30 日までに派遣基準点に達したスコアの提出がなければ選考対象から除外されます。

※イギリスへの留学を希望する場合は、学内の派遣基準とは別に、ビザ取得のために IELTS for UKVI Academic による英語能力の提示が必要になります。受験地は東京または大阪のみです。

(2) 中国、韓国、台湾への派遣希望者は、6 か月以上の中国語または韓国語の学習歴(選択外国語の場合は 1 学期以上)があること

※学習歴は成績表等の書類で確認できることが必要。

※外国語科目の検定認定基準(履修ガイド「外国語科目の単位認定」参照)を満たす結果をもって学習歴としても良い。

TOEFL 基準点一覧(派遣留学生募集要項から抜粋)

派遣先	コース	A 英文学科 文学研究科		B 左記以外の 学科・研究科		備考				
		応募基準	派遣基準	応募基準	派遣基準					
セントラル大、マンチスター大(米)	学部科目受講	480/54	550/79	430/39	550/79	ESL なし				
セントラルカヤ大(英)	学部科目受講 (ダブルイグリー)		520/68		470/52	520/68	ESL なし、 ビジネスコミュニケーション ビジネスフランス語必修			
ジュネーブビジネススクール(スイス)	学部科目受講					500/61	460/48	450/45	TOEFL575 以上 で ESL 免除	
ルイス&クラーク大(米)	ESL/ 学部科目受講		500/61		460/48				450/45	TOEFL570 以上 で ESL 免除
セントマリア大(加)										500/61
ブエナビスタ大、シニアータ大(米)						490/57	450/45	450/45		
ウイソコンソ大ミルウォーキー校(米)										490/57
サンパブロ大(スペイン)、 マナタクリスチャン大(インドネシア)	学部科目受講		490/57		450/45	450/45	450/45	インドネシア語必修		
セントラルカヤ大(英)	語学研修									
大連外大(中)、東海大(台) カトリック大(韓)	語学研修/ 学部科目受講							語学研修中心		

選考方法

選考は、派遣留学願書や志望理由書などの出願書類の他、個人面接(日本語と英語(英語圏応募者のみ))結果、学業成績、語学力をもとに総合的に勘案し行います。

留学の目的、意欲も重要な選考要件となりますので、留学を希望するに至った動機・目的は何か、なぜその国へ行きたいのか、自分が留学するのに最適な時期・学年はいつかなどを良く考えた上で留学計画を進めることが大切です。

単位認定制度

留学期間中に協定校で取得した単位は、30 単位を上限(留学先での取得単位総数を超えないこと)として本学の単位として認定されます。

認定単位数には個人差がありますが、1 年間派遣留学した場合は、一般に 20 単位～28 単位程度が認定されています。

なお、単位認定は、個々の学生の専攻や本学での単位修得状況と大きく関わるため、個々人で違いが生じます。協定校で A という科目を取れば誰の場合でも自動的に本学の B という科目に置き換わるわけではありません。C や D になる場合、あるいは認定されない場合も出てきます。どんな科目でも認定されるということではありませんので、以下の認定方法について事前によく確認しておきましょう。

1. 認定方法

単位の認定には「科目^{よみかえ}読替」によるものと「科目^{ふりかえ}振替」によるものがあります。

読替・振替のいずれの場合でも、該当する科目をすでに修得済みであれば、重複しての単位認定はできませんので、別の科目として読替／振替をすることになります。

読替: 本学で開講されている科目に具体的に当てはめて単位を認定する方法

(例) [Introduction to Business] (経営学概論) を修得してきた
⇒ 本学の「経営学概論」として読み替えられた。

※中国、韓国、台湾に留学する場合は、語学研修が主要なカリキュラムとなります。そのため、専門とする分野に関わる講義を受ける機会はほとんどありません。しかし、語学中心であっても所定のカリキュラムをきちんと履修すれば、後述の科目振替により 20 単位前後は認定されています。

振替: 修得の内容は本学の専門教育科目あるいは大学共通科目に相当するが、それに対応する適当な科目が本学では開講されていないため、分野の取得単位として認定する方法

履修の内容が専門教育科目に相当すれば学科選択科目単位として、大学共通科目に相当すれば、大学共通科目 [人間科学] [人文科学と人間] [自然・科学技術・人間] [社会と人間] [地域と文化] [宗教と文化] の各分野の単位として認定します。

(例) [Concert Choir(合唱)] を修得してきた
⇒ 本学に「合唱」という授業はないので、「大学共通科目・人文科学と人間 2 単位」として振り替えられた。

本学からの派遣留学生在が同じ留学先の大学で同じ講義の単位を修得しても、その学生が文学部生であれば学科選択科目、経済学部生・社会福祉学部生であれば大学共通科目や他学部学科科目となる場合があります。

(例)同じ派遣先で[Communication Skills]を修得してきた場合

- (1) 英文学科の A さん:学科専門教育科目「イングリッシュ・ディスカッション」に読替
- (2) 英文学科の B さん:学科選択科目に振替
- (3) 経済学科の C さん:大学共通科目・地域と文化「国際文化論」に読替
- (4) 経済学科の D さん:大学共通科目・地域と文化に振替

2. 注意事項

- (1) 帰国後に学生本人による単位認定申請が必要です。
- (2) 教職に関する科目への単位認定は行いません。
- (3) 派遣期間中の学年より上級学年次の科目への読替認定は行いません。
- (4) アメリカ・イギリス・カナダ派遣の英文学科生は、
 - ・演習、卒業研究、卒業論文への認定は行いません。
 - ・ESLクラス及びコースのコードが100番台の場合は、(科目によるが)原則として研究科目への読み替えはしていません。
 - ・研究科目への読み替えは、4単位8科目までです。

卒業要件との兼ね合い

派遣留学期間は修業年限に含まれますので、派遣時期や留学前の履修状況・取得科目などにもよりますが、前述の単位認定制度を活用することで留学生活を含めた 4 年間での卒業が可能となる場合があります(英文学科の学生は、3 年次春派遣のみ 4 年間での卒業が可能です)。

※早い学年のうちから綿密な履修計画を立て実践する必要があります。

中国、韓国、台湾の場合は、1 年または 1 学期を専ら語学学習に費やすこととなります。学科によっては 4 年間で本学を卒業することは難しくなるため、卒業延期になる場合があります。

英語圏の場合でも、現地で修得してきた単位がすべて、本学の卒業に必要な科目や単位として認定されるとは限らないため、派遣時期や必修科目の履修の兼ね合いから 4 年間では卒業できないことが多くあります。

派遣先でどのような科目を修得したら本学のどの科目の単位への読替・振替が可能か、それに合わせてどの学年・時期に留学するのが最適か、などについて検討するには、過去の派遣留学生の「留学報告書」「過去の単位認定に関する参考資料」を確認すると良いでしょう。これらはセンター棟 1 階の国際教育課の事務室にあり、いつでも閲覧できるので大いに活用してください。

在学期間のモデルケース(1年間留学する場合)

【3年次秋派遣(5年次末卒業)の場合】

1年	2年	3年	4年	5年
<ul style="list-style-type: none"> ◆単位取得 (30単位以上) ◆TOEFL受験／中国語・韓国語学習 	<ul style="list-style-type: none"> ◆単位取得 (30単位以上) ◆TOEFL受験／中国語・韓国語学習 	<ul style="list-style-type: none"> ◆留学準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ビザ取得 ・保険加入 ・予防接種 ・荷造り ◆オリエンテーション出席 ◆壮行会出席 	<ul style="list-style-type: none"> ◆単位認定申請 (8月20日〆) ◆帰学 (10月) ◆就職活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆就職活動 ◆卒業論文作成・卒業研究
● 応募 ● 合否発表		留学手続き	留学	 授業料減免 (半額/全額)

【3年次春派遣(4年次末卒業)の場合】 ※実際は就職活動等のために卒業を延期する学生が多い

1年	2年	3年	4年
<ul style="list-style-type: none"> ◆単位取得 (30単位以上) ◆TOEFL受験／中国語・韓国語学習 	<ul style="list-style-type: none"> ◆留学準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ビザ取得 ・保険加入 ・予防接種 ・荷造り ◆オリエンテーション出席 ◆壮行会出席 	<ul style="list-style-type: none"> ◆単位認定申請 (2月20日〆) ◆就職活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆帰学 (4月) ◆就職活動 ◆卒業論文作成・卒業研究
● 応募 ● 合否発表		留学手続き	留学

授業料の取扱い

派遣留学期間中は、本学の授業料等を通常通り納めることにより、派遣先大学での授業料が免除されます。

派遣留学したことによって卒業延期が生じた場合は、下記の条件を満たしていれば、本人の願い出により、5年目以降に相当する授業料は、帰国後の通算1年間に限り減免措置が受けられることになっています。

※留学中に在籍が5年目以上になっても、その間に本学に納める授業料は減免対象にはなりません。

※卒業延期時(通年)の履修単位数が10単位以下の場合は、下記の減免と併せて、授業料及びその他の学費の半額が免除されます。

適用条件

1年間留学の場合

留学先で合計20単位以上を取得し、そのうち15単位以上が本学での単位として認定されていること。

1学期間留学の場合

留学先で合計10単位以上を取得し、そのうち8単位以上が本学での単位として認定されていること。

減免措置

1. 大連外国語大学、カトリック大学校、東海大学へ留学していた場合

☞ 授業料及びその他の学費の全額を免除

2. アメリカ・イギリス・カナダ・インドネシアへ留学していた場合(卒業が通年延期)

☞ 授業料及びその他の学費の半額を免除

3. アメリカ・イギリス・カナダ・インドネシアへ留学していた場合(卒業が半期延期)
↳半期分の授業料及びその他の学費の 2分の1 を免除

申請方法

帰国後、5 年目以降にあたる年度の履修登録が完了した時点で、記入後の申請用紙、単位認定票の控えと履修登録票の控えを国際教育課に持参して承認を受け、財務課(C 館 3 階)に提出します。

※所定の申請用紙は国際教育課にあります。

注意事項

いずれの場合も、派遣留学の単位認定によって卒業要件を満たした場合、卒業延期はできず、卒業しなければなりません。

卒業延期時(派遣留学から帰学後)の授業料取扱例

= 派遣留学期間
 = 派遣留学による減免措置が受けられる期間

1. 次のいずれかの期間に留学をした結果

3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期
留学			
	留学		
		留学	

(1) 5年次前期末卒業になった場合

5年次	
前期	後期
卒延	

[減免措置]P.10 1またはP.11 3

(2) 5年次年度末卒業になった場合

5年次	
前期	後期
卒延	

[減免措置]P.10 1または2

(2で通年履修単位数が10単位以下の場合は、さらにその2分の1免除)

2. 4年次後期から留学をした結果

4年次		5年次	
前期	後期	前期	後期
	留学		

(1) 5年次年度末卒業になった場合

5年次	
前期	後期
留学	卒延

[減免措置]P.10 1またはP.11 3

(2) 6年次前期末卒業になった場合

5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期
留学	卒延		

[減免措置]P.10 1または2

(2の場合、5年次後期と6年次前期にそれぞれ2分の1免除)

(3) 6年次年度末卒業になった場合

5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期
留学	卒延		卒延

[減免措置]P.10 1または2

(2の場合、5年次後期と6年次前期のそれぞれ2分の1免除。
ただし、6年次後期は免除なし)

3. 次のいずれかの期間に留学をして、その後半年間休学した結果

3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期
留学		休学	
	留学		休学

(1) 5年次前期末卒業になった場合

5年次	
前期	後期
卒延	

[減免措置]なし

(2) 5年次年度末卒業になった場合

5年次	
前期	後期
卒延	卒延

[減免措置]P.10 1または3

4. 以下の期間に1学期間留学をして、半年間休学した結果

3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期
	留学	休学	
		留学	休学

(1) 5年次前期末卒業になった場合

5年次	
前期	後期
卒延	

[減免措置]なし

(2) 5年次年度末卒業になった場合

5年次	
前期	後期
卒延	卒延

[減免措置]P.10 1またはP.11 3

※5年次前期は通常どおり納入

5. 4年次後期に1学期間留学をして、半年間休学した結果

4年次		5年次	
前期	後期	前期	後期
	留学	休学	

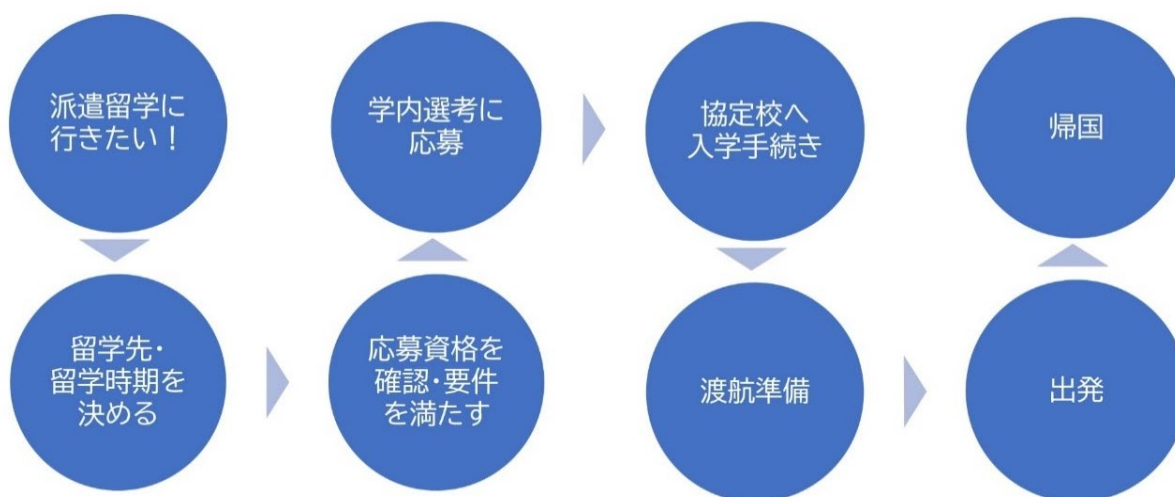
(1) 5年次年度末卒業になった場合

5年次	
前期	後期
休学	卒延

[減免措置]P.10 1またはP.11 3

※5年次前期は休学のため、学費納入なし

派遣留学までのフローチャート



派遣留学に行きたい！ と思ったら	北星大での予定を考える ☑卒業までの予定表を作成してみましよう (卒業時期／副専攻／実習等／就職活動・採用試験等) 履修学年・時期に指定のある科目があるか
留学先・留学時期を 決める	自分がしたい勉強は何か どの協定校でできるか どこの国・地域に行きたいか
応募資格を確認・要件を 満たす	希望の派遣先に留学するための条件は？ 留学開始はいつにするか(いつ派遣留学へ応募するか) 語学基準を満たす ※一度で目標点をとれるとは限らないので、応募時期に余裕を 持って受験(準備)すること
学内選考に応募	保護者から留学について承諾を得る (提出書類)派遣留学願書 「派遣留学を希望する動機と目的」 語学力の証明書 健康診断証明書 払込取扱票(手数料の領収書) 成績表
協定校への入学手続き	パスポート取得 入学願書等提出(派遣先によって必要書類が異なります)
渡航準備	派遣留学オリエンテーション・壮行会へ出席 ビザ取得 予防接種 航空券購入 留学保険(海外旅行保険)加入 荷造り
出発～留学中	定期連絡 履修科目報告 留学レポート提出 長期休暇中予定表提出
帰国	単位認定申請 授業料減免申請 派遣留学報告書提出・派遣留学報告会実施 オープンキャンパスなどへの協力 就職活動 卒業論文執筆・卒業研究

派遣留学生への期待・義務

これまでに書いたとおり、派遣留学は、私費留学と比べると金銭面や北星大でのサポート面において大きなメリットがあると言えます。

対して、北星大が派遣留学するみなさんへ期待したり、義務付けたりしていることがありますので、事前に必ず目を通し、理解したうえで応募してください。

○派遣留学オリエンテーションへの出席義務

派遣留学生として選考された学生は、派遣留学オリエンテーション(2019 年度秋期・2020 年度春期派遣生へは、それぞれ 9 回ずつ実施)への出席が義務付けられます。オリエンテーションの日程は決まり次第連絡しますが、基本的に平日のお昼休みの時間に実施しますので必ず出席してください。冠婚葬祭・実習以外での欠席は原則として認められません。

○海外旅行保険への加入義務

派遣留学生は、学研災の付帯海学への加入が義務付けられます。保険料は本人が負担します。

なお、既往症や歯科診療は保険の対象外になるので、事前に治療をしておくことを強く勧めます。

○OJ-TAS(JCSOS Total Assistance Service)への加入義務

派遣留学生は、JCSOS(海外留学生安全対策協議会)のJ-TASに加入が義務付けられます。費用は本人が負担します。

J-TAS では、病気、怪我、盗難等のトラブル及び医療相談ができるサポートデスクを時間や休日の制限なく利用でき、また、重大事故等が発生した場合の支援を受けることができます。

○派遣先大学での積極的な学習・文化交流

派遣生として、現地で積極的に学び、様々な人と出会い文化交流をしてくれることを期待しています。

○留学中～帰国後は、派遣留学で学んだこと、経験を北星大へ還元

現地で学んだことや経験は、留学レポートの提出、派遣留学報告会などで未来の派遣生に共有してください。

○卒業後は、派遣留学で学んだこと、得た知見を日本及び国際社会・経済へ還元

卒業後には語学力だけでなく、留学を通じて得た知見を自身のキャリアに活かして活躍し、日本及び国際社会や経済に大いに還元してくれることを期待しています。

留学準備

留学を希望する場合には、行先によっても異なりますが、少なくとも 1 年以上の準備期間が必要でしょう(10 ページ「在学期間のモデルケース(1 年間留学する場合)参照」)。

語学学習

英語圏の大学に留学を希望する学生は、派遣基準を満たす TOEFL スコアを持っていないければなりませんので、まずは、学内 TOEFL の受験を勧めます(20 ページ「英語のテスト」参照)。

なお、本学では、協定校から本学へ来ている留学生と在学生在がともに受講できる「国際交流関

係科目」を開講していますが、その中には、留学希望の在大学生を対象とした「**Academic Skills for Study Abroad**」という科目があります。

また、北星オープンユニバーシティには英会話講座があります。入門、初級、中級、上級と4段階に分かれ、実力に応じたクラスを受講できるようになっています。特に、英文学科以外の英語圏留学希望学生は、早い段階からこれらのプログラムを受講して英語の力をつけることを勧めます。

台湾、中国、韓国、スペインへの留学を考えている場合は、北星オープンユニバーシティの中国語やハングル、スペイン語の講座受講を勧めます。

特に、スペインでは学外でスペイン語が必要になります。中国語や韓国語についても授業の履修と併せてオープンユニバーシティを受講し、留学前に語学力を磨いておきましょう。

※オープンユニバーシティの開講科目は変動する場合がありますので、事前に確認してください。

派遣先がどこであっても、語学力が本学の派遣基準をクリアしても満足することなく、継続して語学力を向上させておきましょう。語学力が高ければ高いほど、現地でできることが増え、様々な可能性が広がります。

本学派遣留学の語学基準は比較的緩やかに設定されています。このことは留学しやすいメリットではありますが、**留学中に学部の授業を受ける場合は、現地の学生たちと同じ条件で生活(同じ科目を履修し、授業に参加するなど)しますし、語学研修に参加する場合でも寮などで生活を共にすることになります。**

「行く前にもっと勉強しておけば良かった」と言う派遣帰国生の声は少なくありません。「出発前に留学先の言語力を高める」ということがいかに大切であるか、お分かりいただけるのではないのでしょうか。

施設・設備の活用

語学の成長には、個人的な努力も必要です。A館2階のCALL教室では、授業展開のない時間に自由に機器を使って、英検やTOEFL、TOEIC対策などの自習教材を使用することができます。同じくA館2階のAVスタディールームでは、隣接の教材保管室に保管してある様々な教材を自由に鑑賞できます。施設を十分に活用し、留学準備の助けとしてください。

また、国際ラウンジでは、英語をはじめとする各国語のインターネット放送を随時放映しています。

異文化理解・情報収集

語学学習に加えて、異文化理解や情報収集も大変重要な留学準備のひとつと言えます。

留学中は、他国の文化を知ることと同時に、自国・日本の文化、事柄について他の国の人々に話す機会が多くあります。知っているようで意外と知らない自分の国について、常日頃から見聞を広めておくことも大事な留学準備です。

コロナ禍で中断している交換留学再開後には、またキャンパスに協定校からの交換留学生が通学するようになります。留学生と積極的に接して協定校や彼らの国に関することを教えてもらいましょう。

この他に留学したい大学のHPから、自分で様々な情報を得ることも事前準備としてとても役立ちます。

なお、本学の協定校の中には、日本語学科が開設されており、日本語を学ぶ学生が多くいる大学もあります。興味のある学生は出発前に「日本語教授法」を履修しておくといいでしょう。

それと同時に、自分が留学したい国や地域の情勢についても知っておく必要があります。昨今の世界情勢は大変不安定であるため、危機管理意識や自分の安全は自分で守るといった意識を持つことが強く求められます。日頃からニュースや外務省海外安全HPなどで情報収集する習慣を身につけましょう。

イベントへの参加

センター棟 1 階の国際ラウンジでは English Daberiba や English lunch time など定期的に開催していますので、こういった企画にも積極的に参加しましょう。

国際ラウンジでは、他にも受入留学生が自分の大学や国を紹介するアンバサダープログラム、派遣留学帰国生の留学報告会、在学生による TOEFL 勉強法講座(プレゼンテーション形式)、不定期にゲストを招いての講演会など様々なイベントを実施しています。コロナ禍で留学生の派遣及び受入が中断していますが、再開した時には積極的に参加してください。

新型コロナウイルス感染症や世界情勢不安に関連して

新型コロナウイルス感染症は未だに収束していません。しかしながら、ワクチン接種が進み、各国がそれぞれに防疫対策を行い、行動制限が緩やかになって来ています。

一方、ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢不安が起きています。

本学は、今年度も派遣留学生の募集を通常通り春・秋の年 2 回行います。

派遣留学生の応募・選考から出発までは約 1 年間かかります。留学する準備を進めても、世界をとりまく状況によっては、出発前に、派遣先国・地域が日本人へ入国制限・ビザの発給を停止した／日本が日本人の海外への渡航を禁止した／派遣先校が交換留学プログラムを中止した／本学が派遣プログラムを中止した／みなさんが新型コロナウイルス陽性と診断された、などの理由から、出発することが叶わないかもしれません。

その場合は、取得したビザや手配した航空券が使用できなくなりますが、**キャンセル料やすでに支払った経費(返金の有無にかかわらず)は自己負担**となります。

※本来出発すべき学期に上記の理由から出発ができなかった場合は、次の学期以降に出発を延期するか、派遣留学を辞退するかを選択することができます。

また、派遣先へ到着した後も、日本／滞在先地域や国の政府／協定校(派遣先校)／本学のいずれかが、安全に現地に滞在したり、無事にプログラムを終了したりすることが難しいと判断した場合は、学期の途中であっても帰国してもらう場合があります。

この場合も**帰国にかかる費用(航空券のキャンセル料の含む)やすでに支払った経費(返金の有無にかかわらず)は自己負担**となります。

以上についてよく理解し、保護者の方ともよく相談した上で、派遣留学へ応募するようにしてください。

最後に、留学を希望する皆さん自身が、派遣留学の制度について自分で良く理解し、考え、上に挙げたような準備を適宜進めていくことが必要です。

また、みなさんの留学を援助してくれる保護者の方にも、必ずこの制度についてきちんと相談・伝達してください。

不明な点があればいつでもセンター棟 1 階の国際教育課へ問い合わせてください。

皆さんからの応募をお待ちしています。

資料

2023 年度派遣留学生 募集要項

2023 年度の国際交流協定校への派遣留学生を以下の要領で募集します。

1. 派遣留学期間(学籍上の留学期間であり、実際の出発時期・留学期間は受入大学により異なる)

- (1) 春期派遣:2023 年 4 月から 2024 年 3 月までの 1 年間または 2023 年 8 月までの 1 学期間
 - (2) 秋期派遣:2023 年 9 月から 2024 年 8 月までの 1 年間または 2024 年 3 月までの 1 学期間
- ※ 福祉計画学科生は 1 学期間の留学はできない。

2. 応募資格

- (1) 学籍:本学に 1 年以上在籍している学部学生、大学院生
 ※ 北星学園大学短期大学部からの編入生は、編入した段階で資格を満たすものとする。
- (2) 単位:取得単位数及び累計単位数が、次の条件を満たす者(大学院生を除く。2021 年度休学者は 2020 年度までの単位数)
 - ① 2021 年度の取得単位数が 30 単位以上の者。
 - ② 2 年次に応募する者は、1 年次取得単位数が 30 単位以上であること。
 ※ 3、4 年次に応募する者は、前年度までの取得単位数が累計でそれぞれ 60、90 単位以上であること。
- (3) 成績:応募時の GPA が 2.3 以上であること
- (4) 語学力:派遣先により以下の条件を満たす者
 - ① アメリカ・カナダ・イギリス・スペイン・スイス・インドネシアへの派遣希望者については、応募時の語学力が定められた基準以上であること。派遣先により派遣基準が異なるので、下の表をよく確認し、応募すること。
 ※ 応募時に派遣基準を満たしていない場合、春派遣希望者は派遣前年の 6 月末日、秋派遣希望者は同 11 月末日までに派遣基準を超えるスコア記録の原本を提出できなければ、選考対象から除外される。
 - ② 中国、韓国、台湾への派遣希望者は、6 か月以上の中国語または韓国語の学習歴(選択外国語の場合は 1 学期以上)があること。
 ※ 学習歴は書類で確認できることが必要。外国語科目の検定認定基準を満たす結果をもって学習歴としても良い。
 - ③ イギリスへの派遣希望者は、学内選考とは別にイギリスビザ取得と派遣先の受入基準を満たすため IELTS for UKVI を受験し、定められた基準以上のスコア記録を提出することが派遣の条件となる(締切:春派遣は派遣前年の 7 月末日、秋派遣は同 12 月末日)。スコアの詳細は国際教育課で確認すること。

派遣先	コース	A 英文学科 文学研究科		B 左記以外の 学科・研究科		備考 (現地での学習内容)
		応募基準	派遣基準	応募基準	派遣基準	
セント・オラフ大、マンチェスター大(米)	学部科目受講		550/79		550/79	ESL なし
セントラル・ランカシャー大(英)	学部科目受講 (ダブル・イグリー)				520/68	ESL なし、 ビジネスコミュニケーション
ジュネーブ・ビジネススクール(スイス)	学部科目受講		520/68			ビジネスフランス語必修
ルイス&クラーク大(米)					470/52	TOEFL575 以上で ESL 免除
セント・トマス大(加)						TOEFL570 以上で ESL 免除
ブエノス・aires 大、ジェノヴァ大(米)	ESL/ 学部科目受講	480/54	500/61	430/39	500/61	TOEFL550 以上で ESL 免除
ウイスコンシン大ミルウォーキー校(米)						TOEFL520 以上で ESL 免除
ハワイ大ワイカレヅ(米)	ESL/ 学部科目受講		要確認		要確認	要確認
サン・パブロ大(スペイン)			500/61		460/48	スペイン語必修
マナタ・クリスチャン大(インドネシア)	学部科目受講					インドネシア語必修
セントラル・ランカシャー大(英)	語学研修		490/57		450/45	
大連外大(中)、東海大(台) カトリック大(韓)	語学研修/ 学部科目受講					語学研修中心

※上記の応募及び派遣基準は、TOEFL ITP/TOEFL IBT によるスコア。ESL を設置している北米の各大学については、派遣基準を満たしている場合であっても、指定の TOEFL 基準点を満たせなければ ESL 中心の履修になる。

※英語圏に派遣される場合、派遣先の希望を第 3 希望まで願書に書くことができるが、その最終決定権は大学がもつ。

3. 募集人数(受入大学の事情で変動があるため、目安として考えること。)

派遣期	国	期間	大学名	年間派遣人数	A	B	A・B共通枠	所在地
春期派遣 2023年 1～3月 出発	アメリカ	☆	ブイ・ベスタ大学	6	5	2	2	アイオワ州 ストームレイク
		☆	マンチェスター大学	1				インディアナ州 ノースマンチェスター
		☆	ジュニアタ大学	1				ペンシルベニア州 ハンティントン
		☆	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校	1				ウィスコンシン州 ミルウォーキー
	中国		大連外国語大学	4			4	遼寧省 大連市
	韓国	☆	カトリック大学校	3			3	京畿道 富川市
	台湾	☆	東海大学	2			2	台中市
インドネシア	☆	マラタ・クリスチャン大学	1			1	バンドン	
秋期派遣 2023年 8～9月 出発	アメリカ	☆	ミス&グラーク大学	10	11	4	5	オレゴン州 ポートランド
		☆	ブイ・ベスタ大学	6				アイオワ州 ストームレイク
		☆	マンチェスター大学	1				インディアナ州 ノースマンチェスター
		☆	ジュニアタ大学	1				ペンシルベニア州 ハンティントン
		☆	セント・ジョージ大学	1				ミネソタ州 ノースフィールド
		☆	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校	1				ウィスコンシン州 ミルウォーキー
		☆	ハワイ大マウカウ	要確認				ハワイ州 マウイ島カハレ
	イギリス	☆	セントラル・ランカシャー大学(学部・語学研修)	3	1	1	1	プレストン
	カナダ	☆	セント・トマス大学	10	6	3	1	ニューブランズウィック州 フレデリクトン
	スペイン	☆	サン・パブロ大学	1			1	マドリッド
	スイス	☆	ジュネーブ・ビジネススクール	2			2	ジュネーブ
	中国		大連外国語大学	3			3	遼寧省 大連市
	台湾	☆	東海大学	1			1	台中市
インドネシア	☆	マラタ・クリスチャン大学	1			1	バンドン	

※ ☆印は、1年間だけでなく1学期間の留学も可能

※ 上記区分のAは英文学科・文学研究科、Bは英文学科以外の学科・研究科を指す

4. 応募方法

次の(1)～(6)を応募期間内に国際教育課へ提出すること

- (1) 派遣留学願書(国際教育課(センター棟1F)にて配付。写真1枚を貼付けること)
 - (2) 志望理由書
 - (3) 語学能力の証明書(TOEFLスコアや中国語・韓国語の学習歴を証明するもの)
 - (4) 健康診断証明書(ポータルサイトN★STARから申込発行サービスを利用して発行すること。半年以内に病院で発行されたもので構わない)
 - (5) 成績表
 - (6) 払込取扱票(選考手数料3,000円をポータルサイトN★STARから申込発行サービスを利用して発行すること。)
- ※ポータルサイトN★STARから証明書類を発行する場合は、生協電子マネーによる決済が便利です。

5. 選考方法

出願書類、個人面接、学内成績、語学力を総合的に勘案し選考する

※ 日本語と英語、中国語または韓国語による個人面接により、志望動機・意欲・適性を審査する

6. 選考日程(面接日程・選考結果の発表はいずれも国際ラウンジの掲示板で行うので、各自で確認すること)

	応募期間(厳守)	面接期間(面接日は後日指定)	結果発表
春期派遣	2022年4月21日(木)～4月28日(木)17:00	2022年5月16日(月)～6月24日(金)	2022年7月下旬
秋期派遣	2022年9月22日(木)～9月30日(金)17:00	2022年10月22日(月)～11月26日(金)	2023年1月下旬

7. 派遣留学期間中の費用

- (1) 授業料は本学に納入すること(派遣先大学の授業料は免除)
- (2) 食費・寮費、渡航費、保険料などは自己負担(詳しくは「派遣留学の手引き」参照のこと)となる
- (3) 韓国、台湾への派遣生は、それぞれ年間3名まで標準的な寮費が免除される
- (4) インドネシアへの派遣生は、寮費が免除され、毎月300万ルピアの奨学金が給付される

8. その他

- (1) 派遣留学先の選択においては、「派遣留学の手引き」や各大学HP、留学報告書(国際教育課で閲覧可)を参考にすること
- (2) 各学期に、派遣留学から帰国した学生による「留学報告会」を開催するので、参加を勧める。実施日等の詳細については、国際ラウンジの掲示板を確認、または国際教育課に問い合わせること
- (3) カトリック大学校(韓国)では英語で行われる授業がある(韓国語による科目に振替られる可能性もあり)
- (4) スペインへの派遣希望者は、出発前にオープンユニバーシティ等でスペイン語の学習をすることを強く推奨する
- (5) スイスへの派遣希望者は、ジュネーブがフランス語圏であるため、出発前にフランス語を学習することを強く推奨する
- (6) インドネシアへの派遣希望者は、出発前にインドネシア語を学習することを強く推奨する
- (7) 派遣国・地域、学校によっては新型コロナワクチン接種済みであることを求められる場合がある

以上

英語のテスト

TOEFL(Test of English as a Foreign Language)

TOEFLには、国内教育機関等で独自に実施される「TOEFL ITP」(ペーパー版・学内TOEFL)と公式の「TOEFL IBT」(インターネット版)とがあります。

1. TOEFL ITP

TOEFL ITP はペーパー版の試験で、本学では、これを学内 TOEFL として実施しています。実施時期が限られているため、時間に余裕をもって計画的に受験してください。

なお、スコアは 2 年間有効です。派遣留学出願の際には、過去 2 年間に受験した中から一番高いスコアを選んで使用することができます。

2022 年度社会連携センター主催学内 TOEFL の実施については次のとおり([]内は申込み締切日)です。申込み、問い合わせは社会連携課(C 館1F)まで。

受験料:1回 4,200 円

実施日程:新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によっては、日程変更や中止等の可能性
があるため、受験希望者は事前に必ず社会連携課に確認すること。

第1回 6月11日(土)[5月10日(火)] 第2回 9月17日(土)[8月2日(火)]

第3回 11月12日(土)[10月11日(火)] 第4回 2月25日(土)[2月2日(木)]

2. TOEFL IBT

TOEFL IBT は、インターネット版の試験です。申込方法、受験方法、採点・得点基準が TOEFL ITP とは異なり、受験会場も限られています。申込み、問い合わせは、国際教育交換協議会(CIEE)TOEFL 事業部(電話:03-5467-5489 HP:
<http://www.ciee.j.or.jp/toefl/index.html>)まで。

受験料:1回 245 米ドル(試験日 7 日前までの申込みの場合)

実施日程:国際教育交換協議会(CIEE)の HP で確認すること



※受験料及び手数料は予告なく変更される可能性があります。最新情報は ETS の TOEFL テスト公式サイトで確認してください。

※本学の協定校への留学にはいずれのテスト結果でも利用できますが、交換留学制度によらずに個人で北米・ヨーロッパなどへ留学をする場合には、TOEFL ITP ではなく、TOEFL IBT が求められる場合が多いので、留学希望先の語学基準はよく確認するようにしましょう。

IELTS for UKVI (International English Language Testing System for UK Visa and Immigration)

イギリスへの留学を希望する場合は、留学先が協定校であっても学内の派遣基準とは関係なく、ビザ取得のために IELTS for UKVI Academic (受験地は東京・大阪のみ)による英語能力の提示が必要になります。いずれの TOEFL も使用できません。

英国が定める IELTS for UKVI Academic の基準を満たすスコアを取得しなければビザが下りないため、本学の TOEFL 派遣基準を満たしていても派遣することはできません。各協定校の IELTS for UKVI Academic スコア基準については、国際教育課窓口で照会してください。

申込み、問い合わせは、ブリティッシュ・カウンシル(電話:03-3235-8031 HP:
<https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-uk-visa-immigration/about>)まで。

受験料:1回 29,400 円(税込)

実施日程:ブリティッシュ・カウンシルの HP で確認すること



協定校(国・地域別概要)

それぞれの大学は、受入基準となる語学基準や開講科目、外国人のための特別語学クラスの有無、大学を取り巻く環境(都市型か郊外型か)、所在州・地域、生活費等々で違いがあるため、様々な情報を比較検討して自分の希望する留学先を決めてください。

※参考(北星大公式 HP)

http://www.hokusei.ac.jp/international/affiliated_school/





アメリカ (7 大学)


アメリカにある協定校は、そのほとんどが本学と同様にキリスト教主義に基づいた建学の精神を持つ、男女共学の 4 年制私立大学です。


アメリカには学生数が 1,000 人以下の小さな大学から、数万人を擁する大学までありますが、本学の派遣先大学は学生数が 1,000~2,000 程度の規模の小さな大学が多く、この点も本学と共通するところです。ちなみに本学の学生数は約 4,000 人(短期大学部除く)です。

派遣生は現地で学部の授業を受講します。ESL が設置されている大学の場合、TOEFL スコアや現地到着後の Placement Test の結果によっては ESL での英語学習が中心となります。

①ルイス&クラーク大学	Lewis & Clark College
所在地:米国オレゴン州ポートランド 創設年:1867 年 H P : http://www.lclark.edu 概要:	
ルイス&クラーク大学は、札幌市の姉妹都市でもある米国西海岸オレゴン州のポートランドにあります。市中心部から約 10 km の郊外に位置し、多くの樹木に囲まれたキャンパスの美しさは観光客も訪れる程です。 札幌市とポートランド市との姉妹都市提携に伴い 1965 年に協定を結んで以来、現在までに本学から約 150 人を派遣、ルイス&クラーク大学から短期・長期合わせて約 400 人が来学しました。国際交流が盛んな大学で、約 70 カ国からの約 300 人の留学生が学んでいます。 経済、経営、法律、政治、医学、英語、芸術、教育、その他多くの学科があり、大学の施設はコンピュータ室、音楽関係施設、美術スタジオ、天体観測室などバラエティに富んでいます。	
ESL が充実しており、TOEFL の得点が 575 点未満の学生は、Academic English Studies コースで英語学習を中心に行うことになります。	

②ブエナ・ビスタ大学	Buena Vista University
<p>所在地:米国アイオワ州ストームレイク 創設年:1891 年 H P :http://www.bvu.edu 概要: 米国中西部アイオワ州のストームレイクという人口約 10,000 人の小さな町にあります。大学は湖岸に位置し、四季折々の美しい風景を楽しめると同時に、ヨット、カヌー、水上スキー等も満喫できます。また、全米でも珍しい半地下構造の校舎があり、凱旋門を思わせるビクトリー・アーチはこのキャンパスのトレードマークにもなっています。在学生の多くがアイオワ州出身者です。 本学とは 1988 年から学生の交換を行っており、現在までブエナ・ビスタ大学から約 70 人が来学し、本学からは 115 人以上を派遣しています。 ESL が充実しており、TOEFL が 550 点(TOEFL iBT の場合は 79 点)未満の場合、ESL における英語学習を中心とした履修となります。</p>	

③ジュニアータ大学	Juniata College
<p>所在地:米国ペンシルヴェニア州ハンティンドン 創設年:1876 年 H P :http://www.juniata.edu 概要: ペンシルヴェニア州のほぼ中央に位置するハンティンドンという人口約 7,000 人の小さな町にある、学生数が約 1,600 人の小規模な大学です。東部の景勝地や名所旧跡を訪れやすく、鉄道の便も良いです。卒業生の約 3 割が大学院に進学します。 本学とは、BCA(プレズレン大学連盟～平和主義で知られるキリスト教プレズレン派の大学を中心とした組織)を通じて 1988 年に教育交流を始めましたが、2013 年に直接協定を結びました。 ESL が充実しており、英文学科以外の学生にとっても学びやすい大学です。TOEFL が 550 点(TOEFL iBT の場合は 79 点)未満の場合、ESL における英語学習を中心とした履修となります。</p>	

④マンチェスター大学	Manchester University
<p>所在地:米国インディアナ州ノースマンチェスター 創設年:1860 年 H P :http://www.manchester.edu 概要: インディアナ州ノースマンチェスターという人口約 6,000 人の小さな町にあります。1860 年にユナイテッド・プレズレン教会の神学校として開学されました。学生数は約 1,200 人と小規模ですが、その分コミュニティの親密さが感じられます。 本学とは BCA(プレズレン大学連盟～平和主義で知られるキリスト教プレズレン派の大学を中心とした組織)を通じて 1988 年に教育交流を始めましたが、2013 年に直接協定を結びました。世界で初めて平和学専攻が開設されたことで有名な大学です。 ESL がないため、留学後は現地の学生と同じように科目履修をすることになります。したがって、留学当初からある程度の英語力が必要です。マンチェスター大学に留学を希望する場合は学内の派遣留学生選考基準は TOEFL で 550 点以上の点数が求められます。十分な準備が必要と言えるでしょう。</p>	


<p>⑤セントオラフ大学</p>	<p>St.Olaf College</p>
<p>所在地:米国ミネソタ州ノースフィールド 創設年:1874 年 H P :http://wp.stolaf.edu/ 概要: ミネソタ州の南東部に位置するノースフィールドという人口約 20,000 人の都市にある大学です。学生数は約 3,000 人。アカデミックレベルがとても高く、在学生の満足度も高い大学としてアメリカ国内では評価されています。学生の留学が盛んで、3 分の 2 の学生が在学中に留学を経験します。 セントオラフ大学とは 2014 年に本学英文学科の卒業生(在学中にブエナビスタ大学に留学)がセントオラフ大学で准教授として日本語、言語学などを教えている縁で協定を締結しました。 ESL がいないため、留学後は現地の学生と同じように科目履修をすることになります。したがって、留学当初からある程度の英語力が必要です。セントオラフ大学に留学を希望する場合は学内の派遣留学生選考基準は 550 点(TOEFL iBT の場合は 79 点)以上のスコアが求められます。本来、セントオラフ大学が受け入れる留学生の TOEFL iBT のスコアは 90 点以上(PBT 換算で 577 点以上)のため、十分な準備が必要と言えるでしょう。</p>	
<p>⑥ハワイ大学マウイカレッジ</p>	<p>University of Hawaii Maui College</p>
<p>所在地:米国ハワイ州マウイ島 創設年:1931 年 H P :https://maui.hawaii.edu/ 概要: ハワイ州で 2 番目に大きいマウイ島という人口約 110,000 人の島にあるコミュニティカレッジで、米国教育省からの認定を受けています。学生数は約 3,000 人です。本学とは 2019 年に協定を結びました。 経済・情報技術、工学技術、経営科学のプログラムが充実しています。 語学学校が併設されており、ESL が充実しています。TOEFL の基準点は 2020 年 4 月 1 日現在未定となっておりますが、基準点を超える TOEFL スコアを提出できない場合は ESL における英語学習を中心とした履修となります。</p>	
<p>⑦ウィスコンシン大学ミルウォーキー校</p>	<p>University of Wisconsin- Milwaukee</p>
<p>所在地:米国ウィスコンシン州ミルウォーキー 創設年:1956 年 H P :https://uwm.edu/ 概要: ウィスコンシン州の南東、ミシガン湖のほとりに位置するミルウォーキーという人口約 600,000 人の都市にある大学で、本学とは 2019 年に協定を結びました。ウィスコンシン大学は、本学の協定校では初めての州立大学で、90 か国から集まった学生数は、分校すべてを合わせて約 26,000 人にも上ります。その内、1,400 人は 92 か国から集まった留学生となっています。 会計、都市開発建築、ビジネス、教育、工学、芸術、映像、淡水科学、国際学、健康科学などの分野で有名です。 ESL が充実しており、TOEFL が 520 点(TOEFL iBT の場合は 68 点)未満の場合、ESL における英語学習を中心とした履修となります。</p>	

カナダ (1 大学)

カナダはロッキー山脈やナイアガラ瀑布など、広大な自然の風景が良く知られている、世界で 2 番目に大きな国土を有する国で、国連により生活水準が世界最高であると評価された国です。国の定める公用語は英語とフランス語で、州ごとにも異なる公用語を定めています。

物価は米国に比べて安く、留学総費用は米国や英国留学より抑えられる見込みです。

派遣生は現地で学部の授業を受講します。TOEFL スコアによっては ESL での英語学習が中心となります。

⑧セント・トーマス大学	St. Thomas University
所在地:カナダニューブランズウィック州フレデリクトン	 St. Thomas UNIVERSITY
創設年:1910 年	
H P : http://www.stthomasu.ca	
概要:	
セント・トーマス大学は、カナダ東部のニューブランズウィック州の州都で、「楡の街」と呼ばれる人口約 60,000 人のフレデリクトンにあります。ニューブランズウィック州は、カナダで唯一英語とフランス語の両方を公用語としている州で、西側が米国に、北側がケベック州に接しています。	
学生数は約 2,000 人ですが、1964 年にニューブランズウィック大学(学生数約 9,000 人)に隣接している現在の場所に移動してからは、ニューブランズウィック大学の持つ 2 つのキャンパスや、個々のカリキュラム、プログラム、そして様々な施設とサービスを共有しています。	
TOEFL の得点が 570 点(TOEFL iBT の場合は 88 点)に達しない学生は、ESL プログラムのコースに入ることになります。そこでは、英語力を向上させるためのクラスを履修しながら、いくつかのレギュラークラスも履修できます。	



中国 (1 大学)

中国は距離的にも文化的にも日本と近い国でありながら、人々の日常やその社会については良く知らない人が多いというのが現状です。そのため、留学中に感じるカルチャーショックは中国留学の方がはるかに大きいかも知れません。

派遣生は現地で語学研修中心のプログラムを受講します。

⑩大連外国語大学

Dalian University of Foreign Languages

所在地：中国遼寧省大連市
 創設年：1964 年
 H P : <http://www.dlufll.edu.cn/>
 概要：



大連は遼東半島の最南端に位置し、「北方の香港」として日々発展を続けている北方最大の港湾都市で、日本企業も多く進出しています。

大連外国語大学は外国語大学であると同時に研究所でもあります。日本語、英語、露語、仏語、語学教員養成学科などからなっており、中国東北地方で唯一の外国語専門の単科大学として、語学教育では定評があります。特に日本語学部(日本語学院)は歴史も古く有名で、同学院が編集した辞典や教科書などは中国国内で広く使用されています。

派遣生は外国人のために設けられた「漢学院」で 1 年間中国語を学ぶことになります。ここでは日本からの学習者が多数を占めていますが、諸外国からの学生も在籍しています。


漢学院には留学生しかおらず、中国人の学生と机を並べて学習する機会はありませんので、日常生活や授業外などで中国人学生と交流を持つ努力が必要になるでしょう。

台湾 (1 大学)

台湾は、距離的にも文化的にも日本と近い国でありながら、人々の日常やその社会については良く知らない人が多いというのが現状です。そのため、留学中に感じるカルチャーショックは中国、台湾留学の方がはるかに大きいかも知れません。

かつて台湾が日本の植民地であったことや、台湾は事実上の独立国家として機能していますが国際的には中国の一地域であり、中華人民共和国との間に軋轢が続いているという、複雑な社会情勢にあることは忘れてたくないものです。


派遣生は現地で語学研修中心のプログラムを受講します。

①東海大学	Tunghai University
<p>所在地：台中市 創設年：1955 年 H P : http://www.thu.edu.tw/1_chinese/index.php (中国語版) http://www.thu.edu.tw/english/enindex.htm (英語版)</p>	
<p>概要： 台北の南西約 190 km に位置し、一年を通じて雨が少なく、台湾一気候にめぐまれた台湾中部最大の都市・台中市にあります。 東海大学はキリスト教系の総合大学で、学生数は約 17,000 人です。文学院、理学院、工学院、管理学院、社会科学学院、農学院という 6 つの大学が集まって一つの大学を形成しています。文学院には日本語文学部もあります。 東海大学は台中市中心から離れた場所にありますが、大学内に郵便局や銀行があり、大学裏にはショッピング・レストラン街があるなど、キャンパス周辺で生活のほとんどの事が足りるといえます。 外国人のための「華語教学研究センター」で 1 年間中国語を学びます。台湾人学生と机を並べて学習する機会はほとんどありませんが、寮生活などキャンパス内外で交流を持つことは充分可能です。 なお、本学からの派遣留学生は、年間 3 人の寮費(食費を除く)が免除されることになっています。</p>	

韓国 (1 大学)

皆さんもよく知っているように、朝鮮半島は日本と歴史的・文化的に深い繋がりがあります。1 年間の留学生活で言語習得を目指すのはもちろんですが、より有意義な留学を実現させるために、韓国の文化、歴史に対しても事前に十分な知識を持って留学に臨むことが求められます。

語学研修中心のカリキュラムとなります。英語で行われる講義があり受講が可能です。派遣の際に英語力についての基準はありません。


⑫カトリック大校	The Catholic University of Korea
所在地:韓国ソウルほか	 가톨릭대학교 <small>THE CATHOLIC UNIVERSITY OF KOREA</small>
創設年:1855 年	
H P : http://www.cuk.ac.kr (ハングル版)	
http://www.cuk.ac.kr/eng/index.html (英語版)	
概要:	
<p>カトリック大校は 1855 年にセント・ヨゼフ神学校として創設されました。1959 年にソウル・カトリック大学と改名し、1992 年に現在のカトリック大校 1995 年既存のソウル聖心女子大学を合併しています。特に最も歴史のある医学部(含看護学科)は有名です。</p>	
<p>医学、人文学、自然科学、社会科学、工学、神学部などの学部を持つ、総学生数約 10,000 人を擁する総合大学で、その内約 9,000 人がソンシムキャンパスで学んでいます。また、社会福祉、国際関係、カウンセリング、教育の各分野の大学院、そして研究所、病院も設置しています。</p>	
<p>国際交流も盛んな大学で世界 45 カ国の 242 大学と提携を結んでいます。本学とは、現在までに、短期プログラム生も含めて 252 人の学生を受け入れ、36 人の学生を派遣しました。</p>	
<p>本学からの派遣留学生は、ソウル市内から車で 50 分ほどの距離にあるプチョン市のソンシムキャンパスに所属し、語学堂での韓国語講座以外に一般科目を履修できます。</p>	
<p>なお、本学からの派遣留学生は、年間 3 人の寮費(食費を除く)が免除されることになっています。</p>	

インドネシア (1 大学)

インドネシア共和国は、世界最多の島々によって構成されており、正確な島数はインドネシア政府でさえ把握していないと言われていいます。マラナタ・クリスチャン大学のあるバンドンは、首都ジャカルタからそれほど遠くない西ジャワ州の州都で、バンドン会議が行われた場所としても有名です。

バンドンはオランダ統治時代の伝統と風情を残すインドネシア第三の都市です。数多くの大学がある治安の良い文化都市で、日本人学校もあります。イスラム教徒が国民の 80% を占めますが、戒律はおおらかです。公用語はインドネシア語です。

派遣生は、留学先の大学では英語による講義を受けます。学内では英語を使用することができますが、学外ではインドネシア語が必要になりますので、インドネシアに留学を希望する人は、事前に英語とインドネシア語を学ぶことを強く勧めます。


⑬マラナタ・クリスチャン大学	Maranatha Christian University
<p>所在地:インドネシア バンドン 創設年:1965 年 H P :http://international.maranatha.edu/ 概要:</p>	 <p>UNIVERSITAS KRISTEN MARANATHA</p>
<p>マラナタ・クリスチャン大学は、プロテスタント系の私立大学で、キリスト教有識者のコミュニティによってインドネシアキリスト教教会やパスンダンキリスト教教会の協力を得て創立されました。当初は医学部のみでしたが、現在は 8 学部 21 学科で約 10,000 人の学生が学んでいます。日本語学科があり、日本語のできる教員や学生がいます。日本語学科の授業のお手伝いをする機会があるかもしれません。</p> <p>本学からの派遣生は、インドネシア語やインドネシア文化についての講義と英文学科の講義を英語で受講することになります。マラナタ・クリスチャン大学に留学を希望する場合、学内の派遣留学生選考基準は 490(英文学科生)/450(英文学科以外の学生)点(TOEFL iBT の場合は 57/45 点)以上のスコアが求められます。</p> <p>なお、本学からの派遣留学生は、年間 2 人まで寮費が免除され(キャンパスにあるゲストハウスに滞在します)、300 万ルピアの奨学金が支給されます。</p>	



イギリス (1 大学)

イギリスの正式名称は「グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国」であり、4つの地域（イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランド）に分かれています。それぞれの地域によって文化・習慣、人々の気質などが異なる4つの国がイギリスを構成しています。

派遣生は学部留学と語学研修留学からいずれかを選択することができます。

⑭セントラル・ランカシャー大学	University of Central Lancashire
<p>所在地: 英国プレストン 創設年: 1828 年 H P : http://www.uclan.ac.uk 概要:</p>	 <p>University of Central Lancashire UCLan</p>
<p>プレストンはイギリス北西部のランカシャー州にある人口約 130,000 人の都市で、マンチェスターまでは電車や車で約 40 分、リバプールまでは 1 時間ほどの距離にあります。</p> <p>学生数は約 24,000 人で、学生の国籍は約 120 カ国に及びます。国際交流も盛んで北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、オーストラリア等世界 125 カ国に渡るネットワークがあり、100 を超える学生交流プログラムを持っています。また、キプロスとタイにもキャンパスがあります。</p> <p>ダブルディグリー制度があり、Bachelor of Arts(文学士)の学位取得が可能です。セントラル・ランカシャー大学では国際ビジネスマネジメントのコースで学ぶことになるため、学ぶ科目は国際ビジネス関係に限られます。事前に経済学、経営学などについて学習しておくことが望ましいです。</p> <p>本学の派遣基準を満たして派遣が決まった場合でも、学内選考とは別に、イギリス留学ビザ取得のために、IELTS for UKVI を受験し、英国入国管理局の定めた基準点以上の点数を提出しなければなりません(語学研修の場合も)。</p>	

スイス (1大学)

スイスは連邦共和制の国家で、永世中立国であることは良く知られています。

本学の協定校があるジュネーブはレマン湖畔にある、人口 190,000 人のスイス第二の都市で、国連本部などの国際的に重要な機関が集まっています。また文化レベルがとても高い都市で、カルヴァンの宗教改革発祥地としても有名です。

スイスでは各地方の地理的・歴史的な理由から使用言語が分かれているため、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語の 4 つが公用語と定められていますが、ジュネーブはフランス語圏の中心地です。

派遣生は留学先の大学では英語による講義を受けます。学内では英語を使用することができますが、学外ではフランス語が必要になりますので、スイスに留学を希望する人は、事前にフランス語を学ぶことを強く勧めます。

⑮ジュネーブビジネススクール	Geneva School of Business Administration
所在地:スイス ジュネーブ 創設年:1998 年 H P : http://www.hesge.ch/heg/ 概要:	 <p>Haute école de gestion Genève</p>
<p>ジュネーブビジネススクールは Swiss University of Applied Sciences (HES) network に属する公立大学です。学生数約 1,500 人の小規模な大学ですが、世界 30 ヶ国に 100 校以上の協定校があり、国際交流が盛んです。</p> <p>学習内容はフランス語の他はビジネスが中心になります。事前に経済学、経営学などの科目履修をするなど、日本語で予め基礎知識を持っておくことを勧めます。</p> <p>また、当然 ESL はありませんから、留学当初から授業に参加できる程度の英語力が求められます。</p>	

スペイン (1大学)

本学の協定校があるマドリードは人口約 300 万人、イベリア半島のほぼ中央に位置するスペインの首都です。EU 圏内では、ロンドン、ベルリンに次ぐ大きな街として知られています。政治、経済、文化の中心であるとともに、新旧コントラストのある観光都市です。ヨーロッパの他の国の首都よりも物価が安く、人々も陽気で暮らしやすいそうです。

スペインの文化、芸術、経済の中心地です。ヨーロッパの長い歴史を感じる旧市街と近代的な新市街が同居する都市です。

派遣生は、留学先の大学では英語による講義と、スペイン語の非母語話者のためのスペイン語クラスを受講します。学内では英語を使用することができますが、学外ではスペイン語が必要になりますので、スペインに留学を希望する人は、オープンユニバーシティ等で事前にスペイン語を学ぶことを強く勧めます。

⑯サンパブロ大学	CEU San Pablo University
所在地:スペイン マドリード 創設年:1993 年 H P : http://www.uspceu.com/ 概要:	 <p>CEU Universidad San Pablo</p>
<p>サンパブロ大学は Complutense University of Madrid から分かれ、独立した私立大学として設立されたカトリック系大学で、人文コミュニケーション学部、法学部、医学部、薬学部をもつ総合大学です。CEU Foundation により運営されています。教職員数は約 900 人、学生数は 9,000 人です。</p> <p>本学からの派遣生は、School of Humanities and Communication の科目を英語で受講します。また、留学生向けのスペイン語の授業を受講します。</p>	

協定校ガイド(2019年現在)

※掲載している情報は派遣年度・時期によって変更になる場合があります
 ※近年派遣していない大学については割愛しています

国・地域	学校名	派遣期	ESL	学生数 学生:教員	留学生割合 出身国数	標準的寮費	住居 形態	到着時 Pick- UP
米国	ルイス&クラーク大学 (オレゴン州)	秋	*1	3,390 12:1	9% 76ヶ国	US\$13,100 (食費込)	寮	有
	ブエナ・ビスタ大学 (アイオワ州)	春/秋	*2	1,847 9:1	4% 9ヶ国	US\$10,200 (食費込)	寮	有
	マンチェスター大学 (インディアナ州)	春/秋	無	1,400 14:1	3% 19ヶ国	US\$10,800 (食費込)	寮	有
	ジュニアータ大学 (ペンシルヴェニア州)	春/秋	*2	1,573 12:1	10% 37ヶ国	US\$12,800 (食費込)	寮	有
	セントオラフ大学 (ミネソタ州)	秋	無	3,035 12:1	5% 79ヶ国	US\$11,470 (食費込)	寮	有
	ウイスコンシン大学ミルウォーキー校 (ウイスコンシン州)	春/秋	*3	26,000 15:1	19% 92ヶ国	US\$11,400 (食費込)	寮	有
カナダ	セント・トーマス大学 (ニューブランズウィック州)	秋	*4	2,000 6:1	10% 45ヶ国	CA\$ 11,400 (食費込)	寮	有
韓国	カトリック大学校 (キョンギド(京畿道))	春	/	10,760 9:1	データ無し 45ヶ国	寮費免除 (食費は自己負担)	寮	有
台湾	東海大学 (台中市)	春/秋	/	16,556 7:1	7% 23ヶ国	寮費免除 (食費は自己負担)	寮	有 (有料)
スペイン	サンパブロ大学 (マドリッド)	春/秋	/	9,000 9:1	データ無し 50ヶ国	8,800 € (食費は自己負担)	シェア ハウス	無
スイス	ジュネーブビジネススクール (ジュネーブ)	秋	/	1,500 データ無し	データ無し 50ヶ国	7,500 € (食費は自己負担)	シェア ハウス	無
英国	セントラル・ランカシャー大学 (プレストン)	秋	*5	32,000 16:1	16% 120ヶ国	£ 3,400 (食費は自己負担)	寮/ シェア ハウス	有
インドネシア	マラナタクリスチャン大学 (バンドン)	春/秋	無	10,000 16:1	データ無し 12ヶ国	寮費免除 (食費は自己負担)	ゲスト ハウス	有

*1 TOEFL ITPの得点が575点以下の学生は、Academic English Studies コースで英語を中心に学ぶ。

*2 TOEFL ITPの得点が550点以下の学生は、ESLで英語を中心に学ぶ。

*3 TOEFL ITPの得点が520点以下の学生は、ESLで英語を中心に学ぶ。

*4 TOEFL ITPの得点が570点以下の学生は、ESLで英語を中心に学ぶ。

*5 学部への派遣の場合はIELTS for UKVI Academicの基準を満たす必要がある。現地でのESLは無い。

語学研修へ参加の場合は同試験のスコア提出は求められないが、インターンシップに参加する場合は必要となる。

協定校学期制度(2019年現在)

※掲載している情報は派遣年度・時期によって変更になる場合があります

※近年派遣をしていない大学については割愛する

国・地域	大学名	学期制度	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
米国	ルイス&クラーク大学 (オレゴン州)	2学期+夏学期 (夏期学校)	→		秋		→	→		春		→	夏(夏期学校のみ)		
	ブエナ・ビスタ大学 (アイオワ州)	2学期+中間学期+ 夏学期	→		秋		→	→	中	春		→	夏①	→	夏②
	マンチェスター大学 (インディアナ州)	2学期+1月学期+ 夏学期	→		秋		→	→	1月	春		→	夏②	→	夏①
	ジュニアータ大学 (ペンシルヴェニア州)	2学期+夏学期	→		秋		→			春		→		→	夏
	セントオラフ大学 (ミネソタ州)	2学期+夏学期		→	秋		→	→	1月	春		→	夏①	→	夏②
カナダ	セント・トーマス大学 (ニューブランズウィック州)	2学期			第一		→	→		第二	→				
韓国	カトリック大学校 (キョンギド(京畿道))	2学期			秋		→					春	→		
台湾	東海大学 (台中市)	2学期			秋		→	→				春	→		
	セントラル・ランカシャー大学 (プレストン)	2学期			第一		→	→			第二	→			
スペイン	サンパブロ大学 (マドリッド)	2学期			秋		→	→				春	→		
スイス	ジュネーブ ビジネススクール (ジュネーブ)	2学期			秋		→	→				春	→		
インドネシア	マラナタ・クリスチャン大学 (バンドン)	2学期			秋		→	→				春	→		

※夏学期、短期などは短期集中講義で、希望者は履修可能(受講料等は自己負担)。

文学部・経済学部・社会福祉学部生用

派遣留学の手引き 2022

2023年度派遣生適用

2022年4月1日発行

発行:北星学園大学国際教育センター(センター棟1階)
TEL:011-891-2731(代) FAX:011-891-9550

